3
March 2018
No.741

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（常務理事　椿 誠）…… 3
- 理事会報告 …… 4
- 委員会報告 …… 6
  （総務・医療連携、医療対策）
- 国保報告 …… 11
- 郡市会報告 …… 12
  （天草郡市、下益城郡、人吉市・球磨郡、玉名郡市、阿蘇郡市）
- お知らせ …… 14
- リレー投稿⑮ …… 15
- つどい …… 16
  （剣道部）
- 新入会員 …… 17
- 会務報告 …… 17

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

７回目となる「熊本城マラソン2018」が好天の下、開催されました。歯科医師、歯科衛生士もメディカルランナー、ＡＥＤ隊、ボランティアとして多数参加されています。写真は午前９時の号砲とともに、次々とスタートするランナーたち。平成大通りの陸橋を駆け上るランナーたち。余裕がある（？）温会員と金本会員は、無事にゴールされました。来年は抽選に当たりますように!!

（Ｔ・Ｋ）

どうなる今後の国民皆保険制度

常務理事　椿　　誠

江戸時代「人生50年」と言われた時代、日本人の平均寿命は30～40歳だったようで、2016年の調査では男性81歳・女性87歳です。これは医療の進歩、また我が国においては国民皆保険制度の賜物であると考えます。

しかし今後の日本は2025年には少子高齢化が最高に達し、過度の人口減少を迎えることになります。現在の医療費は年間約42兆円、普通に考えればこの医療費は今後しばらく増え続けることが予想されます。ところが国はこの増え続ける医療費をどうにか減らそうと考えています。今年、診療報酬改定及び介護報酬改定が同時に行われます。すでに皆さんのご存知の通り診療報酬本体では＋0.55％・医科＋0.63％・歯科0.69％・調剤＋0.19％、介護報酬では＋0.54％と発表されております。最終的に厳しい財政状況の中で前回の改定率を上回ることが出来たのは、経済財政諮問会議において骨太の方針2017として生涯にわたる歯科健診の推進、歯科保険医療の充実に取り組むことが明記されたからでしょう。しかし肝心なのは改定がどこに、どの様に貼り付けられるかが問題です。歯科においての新しい機能・新しい技術にしか点数は付か無い傾向にあり、ファイバーコア・CAD/CAM（小臼歯）・昨年12月に突然（大臼歯）と昔は保険外で行われていた治療が保険収載されています。会員の皆様は現状をどう思われますか？本当に国民の安全・安心な治療になっているのでしょうか？個人的には今後この様な改定が続けば歯科界がどうなっていくのか心配であります。また現在新卒の歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士は人材の確保が出来ず困っている会員が多いと思われます。現在、厚生労働省は歯科医師過剰と言い本来の資格試験であるはずの国家試験を定員試験にしています。歯科衛生士・歯科技工士に対しては我々歯科医師が十分な雇用条件を与えることが出来ません。これらの問題を改善する為には大きな改革が必要では無いかと考えます。このままでは近い将来、国民皆保険制度に頭打ちが来る事は否定出来ません。その時に想定外とは言えない事を考えると今のうちに歯科界の将来像を歯科医師が考える時期に来ているのでは無いでしょうか？

この改革は急に出来るものではありません。我々は、国民の健口維持、歯科界の発展の為にも５年・10年先を見据えて今から準備していく事が必要であるのではないでしょうか。会員の皆様のご意見をお聞かせくださいます様お願い申し上げます。

理事会報告

0.69％のプラス改定

― 第９回理事会 ―

１月24日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他松本・赤尾理事を除く全役員の出席のもと開催された。

１．開会：伊藤副会長
２．挨拶：浦田会長

１月になって初めてお会いする先生もいらっしゃいますので、改めまして新年明けましておめでとうございます、今年も宜しくお願い致します。

さて、昨年末診療報酬改定率が決まりました。医療費本体は0.55％プラスで、歯科では0.69％のプラスとなりました。歯科医療費アップ分の財源は207億円と言われております。前回の改定よりはプラスということでありますが、今後４月の改定に向けて作業がなされています。少しでも臨床の現場で使いやすい改定になることが、会員にとっても患者さんにとっても良い改定になればと思います。また、いわゆる2017年の骨太の方針に歯科保健医療の推進が盛り込まれたことで、厚労省の歯科保健関連予算が4.29億円から7.63億円と約78％アップということになりました。この厳しい状況で、他の分野ではあり得ない伸び率ですので、歯科に対する期待の表われとともにそれに対するモデル事業も来年度は開始されると思います。県庁へ新年の挨拶に伺った際にも、市町村或いは県が率先してモデル事業実施に手を挙げて頂きたいと申し上げてきました。今まで以上に事業が増えるかも知れませんが、将来に向けて歯科界のために率先してやるべき事業であり、そうなりましたら各郡市と協力して実施して行きたいと思っております。どうかご協力宜しくお願い致します。

「物事は、初めはきまって少数の人によって、時にはただ一人で始められるものである」という名言があります。我々少数の役職員でありますが、本会の舵取りを、是非この様な気概を持って今年１年務めていきたいと思っています。会員或いは県民のために歯科を良い方向に向けるための努力を１年間行っていきたいと思いますので、重ねてご協力をお願いしまして、今年初めの挨拶とさせていただきます。

３．議長選出：浦田会長
４．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長
５．平成29年度会務報告：
（自：12月26日～至：１月21日）
本会総務：理事会、常務理事会、新年挨拶廻り、財務検討臨時委員会、県警察歯科医会打合せ
社会保険：保険個別指導
地域保健：後期高齢者歯科口腔健康診査に係る意見交換会
学校歯科：県学校保健会合同研修会
医療対策：都道府県医療安全担当理事連絡協議会、医療相談・苦情事例報告
センター・介護：障がい者歯科保健推進協議会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：
１．日歯関係資料（朝日新聞・メディファクス）
歯周病と認知症に関する新聞記事、医師会会員数について説明がなされた。
２．平成30年度予算案「歯科保健医療施策の概要」
日歯から送付のあった骨太の方針2017を踏まえた施策の概要について説明がなされた。
３．県監査委員による平成29年度財政的援助団体等の監査
２月５日（月）に県歯会館において実施される。対象となるのは、医科歯科連携訪問歯科診療用機器整備事業、在宅歯科医療連携室整備事業、認知症サポーター見守り体制等推進事業、心身障害者歯科診療等事業、被災生徒授業料等減免補助、夢の道しるべ事業の６事業である。

4．日歯福祉共済保険改正による80歳以上の死亡共済保険金額の減額
　日歯福祉共済規則の一部改正により、４月から80歳以上の死亡及び障害退会共済保険金額が400万円から300万円に減額される。
5．代診派遣制度の今後の対応
　年末に代診依頼が複数発生したことから、今後アンケート等を実施し、協力医院を募ることとする。
6．中小企業グループ施設等復旧整備事業に係る交付決定状況
　12月31日現在で、交付申請180件のうち、167件の交付が決定され、92.8%の決定率となった。
7．事業実施報告書
- 地域保健委員会：12月９日（土）生活歯援プログラム歯科衛生士向け研修会
- 11月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

8．12月末会計現況

7．連絡事項：

1．２月行事予定
　本県が担当する九州各県厚生担当者会は、10月６日（土）に開催することとなった。

8．承認事項：

1．新入会員の承認〔承認〕
　飽田 詩織（第３種）、小西 郁理（第３種）計２人の入会を承認した。
※29年度入会状況（１月末現在）：
　第１種・12人、第２種・７人、第３種・９人、第４種・２医療機関
2．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕
- 健康・生きがいづくり支援事業推進委員会委員／県老人クラブ連合会
  渡辺 賢治　副会長　任期：平成30年１月１日～３月31日
- 司法委員／熊本地方裁判所
  前野 正春　会員　任期：平成30年１月１日～12月31日

3．名義後援の使用依頼〔承認〕
- 第８回くまもと笑いヨガフェスティバル／くまもと笑い倶楽部
- 第36回熊本春節祝賀会／県日中協会

9．議題：

1．平成30年度代議員会の開催期日〔承認〕
　定時代議員会を６月23日（土）午後３時、臨時代議員会を平成31年３月23日（土）午後３時から開催することとした。
2．第91回日本産業衛生学会の後援等依頼〔承認〕
　後援依頼については承認し、企業セミナー、展示ブース、広告については参加する企業の紹介等で協力することとした。
3．会館使用申し込み受付期間外の承認〔承認〕
　県歯科衛生士会が開催予定しているセミナーについて、事前受付を承認した。
4．平成29年度臨時代議員会会務報告〔承認〕
　原案について承認し、再度各担当で確認することとした。
5．平成29年度第２回九地連協議会提出協議題回答〔承認〕
　回答案について、一部修正して承認し、九地連へ提出することとした。
6．平成30年度会費及び負担金・賦課率並びに徴収方法（案）〔承認〕
　29年度同様、変更しないことで承認し、代議員会へ提出することとした。
7．平成30年度会計収支予算書(案)〔承認〕
　原案を承認し、代議員会へ提出することとした。
8．平成30年度積立金収支予算書（案）〔承認〕
　原案を承認し、代議員会へ提出することとした。
9．平成29年度県委託（補助）事業に係る予算〔承認〕
　むし歯予防対策事業予算明細書（案）について承認した。
10．会員からの会費・共済互助負担金の減免申請の認定〔承認〕
　申請のあった２人の会員の減免を承認した。
11．入院給付申請の有効期限が過ぎてからの給付申請の取り扱い〔承認〕
　申請のあった会員への給付を承認した。
12．平成30年度九州口腔衛生学会研究助成金の申請〔承認〕
　学会への研究助成申請について承認した。
13．平成29年度第26回中規模県歯科医師会連合会各県提出協議題回答〔承認〕
　回答案について承認し、当番県へ提出することとした。
14．各郡市会長・専務理事連絡会議事前質問回答〔承認〕
　回答案を一部修正し、当日配布することとした。

10．協議事項：

1．熊本歯科衛生士専門学院校舎の増築
　増築について検討することを了承し、まずは各郡市会長・専務理事連絡会議等で意見を聞くこととする。

11．監事講評：

12．閉会：渡辺副会長

（広報　竹下 憲治）

委員会報告

登録歯科医師数は本県が唯一50％超に

― がん医科歯科連携事業報告 ―

総務・医療連携

平成25年度より熊本県がん連携モデル事業として開始し、平成29年11月現在18施設のがん診療連携拠点病院と５施設のがん診療病院のあわせて23施設と連携しており、５年間で延べ3887件、月100件くらいのペースで紹介を頂いております。

がん医科歯科連携事業として、歯科医師登録研修会の開催（年２回）、歯科医師向け研修会、歯科衛生士向け研修会（年２回）行っております。

平成26年度にはリーフレットを作成し、平成28年には２月４日の世界がんデーに合わせてがん連携啓発のための新聞広告掲載をしました。

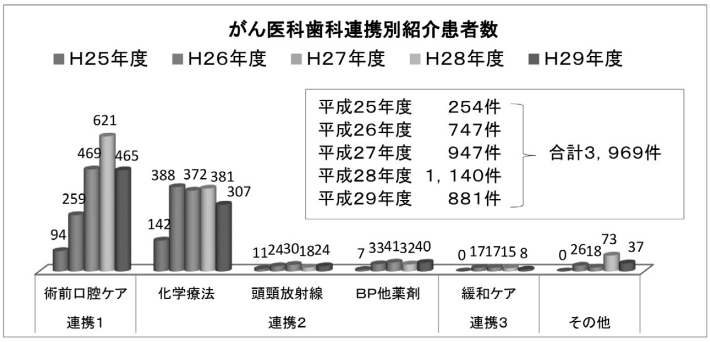
本県においてのがん医科歯科連携登録歯科医師数は平成29年３月現在、会員総数905人に対し連携１（手術前患者）が488人、連携２（がん化学療法および放射線治療）が452人、連携３（がん緩和ケア）が296人で、全国の都道府県で本県が唯一50％を超えております。紹介の内容は連携１，２がほとんどですが、連携３も20人弱あります。

今後の課題としまして、医科の方のアンケートもとりましたので、連携自体の内容を見直し、更なる連携の充実を図り、増加するがん治療患者さんに口腔ケアを行っていきます。そのためにもまだ登録されていない会員は是非登録いただきますようお願いいたします。登録には連携登録研修会の受講が必要で、来年度も予定しております。

昨年、がん医科歯科連携についてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今後もがん医科歯科連携事業へのご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（三森　康弘）



〈病院別紹介件数〉　※H29.12月末までのデータ

	H25年度（モデル）	H26年度	H27年度	28年度	H29年 4～12月	合計
熊本大学医学部附属病院	0	0	63	118	46	227
熊本労災病院	0	79	123	136	124	462
人吉医療センター	0	2	13	15	11	41
熊本赤十字病院	84	122	75	116	106	503
熊本医療センター	93	163	316	346	226	1,144
済生会熊本病院	67	72	95	76	77	387
荒尾市民病院	0	35	62	46	33	176
熊本中央病院	0	0	4	1	14	19
熊本再春荘病院	0	0	3	0	0	3
熊本総合病院	0	9	2	18	14	43
水俣市立総合医療センター	0	1	1	0	0	2
天草地域医療センター	0	0	7	8	6	21
天草中央総合病院	0	0	0	0	0	0
熊本地域医療センター	0	15	4	11	10	40
くまもと森都総合病院	0	11	6	27	3	47
高野病院	0	77	72	74	66	289
山鹿市民医療センター	0	52	30	38	13	133
熊本南病院	0	0	0	9	6	15
鶴田病院	0	0	10	11	1	22
阿蘇医療センター	0	0	1	9	2	12
公立玉名中央病院			0	40	30	70
玉名地域保健医療センター			8	1	11	20
熊本市民病院	0	51	18	0	0	69
合　　計	244	689	913	1,100	799	3,745

委員会報告

よりよい連携体制の構築へ

― 回復期連携事業報告 ―

総務・医療連携

回復期リハビリテーション病院とは、脳卒中を始めとした脳血管疾患や大腿骨などを骨折した患者さんが、日常生活動作（ADL）の改善や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを中心的に行う病院のことです。緊急性の高い疾患や外傷等で急性期病院に入院されると、原因の治療が優先され、歯や口腔のケアが長期間放置されることも少なくありません。急性期病院から回復期病院に転院された患者さんの口腔内の環境はとても悪くなっている場合があります。歯科が介入することで食を支える、食べられる口を作ることが大切です。

本会におきましては全国に先駆け回復期連携事業を平成26年度より開始し、今年度は平成とうや病院と覚書を交わしております。

グラフに載っている５つの病院は、歯科が入っていない病院です。また、歯科を併設している熊本リハビリテーション病院との連携も行っております。

回復期病院を退院後、歯科治療が必要な方が在宅・施設等に戻られた場合、誰も診療する人がいない（診療必要な方に対して）状況を避けるために在宅連携室を通して各郡市の先生方に訪問依頼させていただいています。

歯科が入っている回復期病院と、歯科が入っていない回復期病院、現在合わせて６病院との連携ですが、今後もより良い連携体制を構築して、いずれは県下全体に広げていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力も合わせてお願い申し上げます。

なお、現在の回復期連携事業の協力医は熊本市で59人、他郡市で20人の合計79人です。随時協力医も募集していますので、ご希望の方は、県歯事務局までお問い合わせください。

（三隅　賢祐）

平成29年度　回復期医科歯科連携事業　　※H29.12月末迄

	熊本機能病院	熊本託麻台リハビリテーション病院	江南病院	青磁野リハビリテーション病院	平成とうや病院	合　計
4月	21	14	11	10		56
5月	22	10	12	7		51
6月	27	10	10	8	6	61
7月	18	18	10	4	7	57
8月	18	19	10	8	8	63
9月	23	13	6	7	8	57
10月	23	21	12	10	8	74
11月	21	11	8	3	2	45
12月	30	8	8	13	7	66
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
年合計	203	124	87	70	46	530

H26年度	247	87				334
H27年度	266	136	72	22		496
H28年度	303	139	106	99		647
計	1019	486	265	191	46	2007

委員会報告

口腔ケアの重要性を再認識

― 回復期病診連携研修会 ―

総務・医療連携

12月16日（土）午後４時より県歯会館４階ホールにて、回復期病診連携研修会が開催された。講師として東京都新宿区で開業のふれあい歯科ごとうの五島朋幸代表をお招きし「食べること　生きること　～最後まで口から食べるために～」を演題にご講演頂いた。研修会には歯科医師、歯科衛生士、看護師、理学療法士、言語聴覚士等82人が参加した。

現在日本社会には40万人もの胃瘻造設者がいると言われており、これは日本の医療水準の高さを示す一方、口から食べるということが粗末になっていることも表していると言える。また現在の日本人三大死因の第三位は肺炎であり増加傾向にある。その90％以上が65歳以上の高齢者であり、肺炎のほとんどが誤嚥性肺炎である。この誤嚥性肺炎を予防するためのケアとして口腔ケアがあるが、その正しい知識についてはまだまだ浸透しておらず、現場で正しい知識に基づいた実践がなされていないのが現状である。

そこで今回、講師の五島代表により、口腔ケアの正しい知識とその意義、さらには誤嚥性肺炎の予防について理解し、患者のよりよい口腔環境を整え食べる機能を支えていくことを目的とする訪問歯科診療における歯科の役割についてご講話頂いた。以下に内容を紹介する。

口腔ケアとは単に口の中をきれいにするという事ではなく、食べる機能を維持または立ち上げることを目的とする。その意義としては、口腔内清掃によりバイオフィルムを除去し口腔内細菌を減少させ、同時に口腔周囲組織の刺激により正常な嚥下あるいは咳反射に必要な脳内産生物質であるサブスタンスPの合成を促し増加させることにより正常な嚥下を営ませるというものである（逆にサブスタンスPが少ないと飲み込みが悪くなる）この口腔ケアを正しく理解し実践することにより、その効果として正しい嚥下が可能になり（誤嚥防止）、食事もできるようになる（食欲増進）。体力および免疫の増加（抵抗力の増加）へと繋がることが重要となり、安全に口から食べることこそが最大の肺炎の予防となるということであった。また、誤嚥性肺炎は夜起こる微小誤嚥が原因であることが知られている。特に無歯顎者では口腔機能が低下し、嚥下機能が悪いために誤嚥を引き起こすリスクが高くなる。過去のデータより無歯顎者での微小誤嚥は義歯装着時の方が少なくなるということがわかっており、五島代表は総義歯の24時間装着（但し就寝前によく清掃させる）を推奨しているとのことであった。

五島代表の口腔ケア講演

講演の後半は口の機能と食べることおよび食支援についての話があった。口から食べることには①噛んで（準備）②送って（口腔）③飲み込む（嚥下）の三つの機能があり、口から入った食物はただ小さくなれば良いというわけではなく、飲み込める形になったら嚥下が行われる。つまり咀嚼で最も重要なことは、食物を口の中で認知する能力であり、飲み込める形に食塊形成することこそが咀嚼の目的であるとのことであった。また、舌も嚥下までに物を移送するという動きの中心となる重要な器官であり、スルメを使った舌の移送訓練など非常に面白味のある話もあった。

食支援のお話では、講師が代表をされている新宿食支援研究会（新食研）は120のワーキンググループと約140人のメンバーから構成されており、地域の食支援を適切に行うためには様々な職種の担い手が地域の中で連携していくことが必要であることを述べられた。また、地域の中で咀嚼と嚥下を見る目を育てるために作成した食形態判定表（どんなものが食べられるか簡易的にヘルパーや介護職員などが見てもわかる表）の紹介など非常に興味深いものであった。

今回の研修会は、口腔ケアの正しい知識と効果について理解でき、それを実践し目的を達成するためには多職種間で共通の情報を持ち、かつ連携をとっていくことが重要であることを再認識させられ、非常に有意義なものとなった。

（太田　文隆）

委員会報告

がん治療の最前線と緩和ケア

― がん医科歯科医療連携事業研修会 ―

総務・医療連携

１月20日（土）午後５時より、「周術期口腔機能管理をもっとがん患者さんへのサポートに活かそう！～医科歯科連携でQOLからQODまで寄り添う～」と題して、がん感染症センター都立駒込病院看護部歯科口腔外科の池上由美子主任歯科衛生士によるがん医科歯科医療連携事業研修会が開催された。

まずは冒頭にこれからの高齢社会において、私たち医療従事者は歯科保健活動を通じて人々がより良い生活を維持できるようにQOLを重要視してきた。しかしこれからは、人々のQOD（クオリティ・オブ・ダイ）も一緒にサポートしていくことが求められるのではないかと述べられた。

続いて、１.がん治療の最前線、２.乳がん患者に対する周術期の口腔ケア、３.緩和ケアの３つのテーマについて講演が進められた。

現在、日本では約530万人のがん患者がいるといわれているが、がん治療の入院期間の短縮化が起きている。現在は、12日～14日程、今後は７日～10日程ではないかといわれている。それと同時に外来での抗がん剤治療や放射線治療患者が増え、また在宅で終末期を迎えられる方が増えるであろうと思われる。

続いて、乳がん患者に対する周術期口腔ケアについて話された。まずは、抗がん剤の副作用による口腔粘膜炎の対処、そして骨髄抑制による感染への対処・患者の理解が重要であると述べられた。口内炎による疼痛の対処法として、キシロカインスプレー（100mlを作る場合、96mlの蒸留水に４％キシロカイン４mlとアズレン細粒１包。痛みの程度でキシロカインを２倍・３倍と増量）を使用し、

QODの大切さを話す池上講師

局所であればキシロカインゼリーの塗布や氷を口に含むなどの工夫が必要だと話された。また、味覚障害が起こることから、水分量の多い食事形態に変えたり、亜鉛不足になるため亜鉛摂取の指示、唾液腺マッサージ、保湿材の使用などの多方面からのケアを行うとよいのではと話された。また、口腔ケアのポイントとして軟らかい歯ブラシやヘッドの小さい歯ブラシを使用したり、口腔内のむくみによる粘膜への刺激に対して、潤滑剤や保護床の使用も必要であるとのことであった。

最後に、今後在宅での終末期を迎える方が増えると予測できる中、いかに多職種でサポートしていくかが大事であり、また口腔ケアがうまくいくためのポイントとして、病院とかかりつけ歯科医との緊密な情報の交換が重要だと話された。緩和ケアの話では、15歳の少年のがん患者の緩和ケアの実体験を挙げられ、いかにがんと闘いながら自分のペースで自分らしく長く生きられるかをサポートしていったかなどを話され、緩和ケアの意義を熱く訴えられたことがとても印象的であった。

（片山　泰紀）

委員会報告

安全な医療のために

― 都道府県医療安全担当理事連絡協議会、医療事故調査制度研修会 ―

医療対策

１月20日（土）午後１時より、日歯会館において、都道府県医療安全担当理事連絡協議会が開催された。全国各地の医療安全に携わる歯科医師と日本歯科医師会役員を含め、約70人の参加があった。本会からは永松理事と椿委員の２人が参加した。

まず、堀日歯会長の挨拶、三井日歯常務理事より日歯として医療安全への取り組みの報告があった。昨年問題になったハンドピースの滅菌処理についてとインシデント報告システム操作マニュアルについての説明があった。これは、会員診療所で確認されたヒヤリ・ハット事例を収集し、分析し、分析内容から事象の多いもの、重大な医療事故につながると考えられるものについては、医療安全情報として幅広く周知を行う為の報告マニュアルである。１月22日に正式に開始するということであった。

その後、厚生労働省健康局結核感染症課の野田博之エイズ対策推進室長より「エイズ予防指針の改正と歯科医療提供体制について」という題でエイズ対策の現状について講演があった。エイズは、完治は難しいが、今や予防可能、コントロール可能な病気であるという話だった。実際に歯科診療を提供する医療従事者への情報提供を目的として「HIV感染者の歯科治療ガイドブック」を作成しているとのことだった。今後も歯科医療提供体制の整備に向けて日歯と協力しながら進めていきたいとの事だった。

次に茨城県、福島県、三重県、兵庫県、鳥取県、福岡県、沖縄県の医療苦情等の報告があった。福岡県では１年間で1000件近くの医療相談があるのに対し、鳥取県は１年間で約15件程度の相談があり、すべてが相談で終了するような事案ばかりだそうである。その他の県は、年平均70件程度の医療相談があるとのことだった。今回発表された各県の先生の話を聞いて、大変地域差があることと対応の違いにとても驚かされた。

全国各地の医療安全に携わる参加者

最後に森口日歯理事の閉会の辞で終了した。

１月21日（日）午前10時30分より、医療事故調査制度研修会が開催された。堀日歯会長と住友日歯医学会会長の挨拶のあと、３人の講師により医療事故調査制度関連の講演があった。

その後、研修会として、診療所や病院における対応事例の講演後、ビデオ研修、グループワークが行われた。グループワークでは一班７人から８人で実際の死亡報告の検証などをみんなで話し合い、訂正箇所の確認をおこない報告書の再作成を行うというものだった。

研修会後、今井日歯医学会総務理事による総括、三井日歯常務理事の閉会の挨拶があり幕をとじた。

（椿　賢）

国保報告

厳しさ増す国保組合

― 平成29年度九歯連協議会 ―

１月20日（土）午後３時30分から、ホテル日航熊本にて平成29年度九歯連協議会が開催され、本県からは浦田理事長以下役員６人が出席した。

重城九歯連副理事長の開会の辞に続き、熊澤九歯連理事長と浦田理事長が挨拶を述べた。

―熊澤九歯連理事長挨拶―

この協議会は、各県組合の決算状況、運営状況についての情報及び意見交換を行う場となっておりますので積極的な発言をお願いいたします。国が示す国保組合会計予算をみてみますと段階的な補助金の削減など各組合とも厳しい状況におかれています。また被保険者に対する疾病予防や健康づくり等により評価指数が示され特別調整補助金に反映されるということです。データヘルス計画の中でも各県組合にあった健康対応づくりのための事業に取り組んでいきます。またオンライン資格確認の運用が来年度から段階的に開始され平成32年度より本格的に運用されることになっております。組合としてもシステムの構築等、着実に進めていきます。各国保組合を取り巻く環境も電子化の波とともに変化してきており時代に乗り遅れないように進めていきます。この九歯連協議会の場でいろんな意見を交換して問題解決と組合の発展に寄与できるようにしていただきたい。また明日は九州各県の国保事務担当者連絡会が熊本県歯会館で開催されます。事務レベルでの具体的な内容の情報交換を行っていただきたいと思っております。今日は最後まで慎重な審議をお願い致します。

―浦田理事長挨拶―

本日は九歯連協議会を熊本で開催させていただきます。熊澤理事長のご挨拶にもありましたが、国保組合の運営は非常に厳しい状況にあります。特に熊本の場合は、地震の影響もあり、さらに厳しいものとなっております。皆様から色々なお知恵をお借りして組合の運営に活かしていきます。熊本地震から２回目の年を経ました。まだまだ復旧、復興には時間がかかる状況にあります。また熊本のシンボルである熊本城は工事のため、やぐらを組んだ中にありますが、こういう熊本城も今しか見られませんので、お時間のある方は見に行っていただければと思います。今日の協議会の後の講演には熊本城調査研究センターの

問題解決と組合の発展のための意見交換

鶴嶋俊彦氏においでいただきまして熊本城のお話をしていただきます。この鶴嶋氏はブラタモリでも熊本城の解説をされており、地元の我々も知らない熊本城の話がたくさん聞けると思いますので、どうか楽しみにして頂きたいと思います。長時間になりますが最後までよろしくお願いいたします。

次に、本県の浦田理事長が議長に、次期開催県の村岡鹿児島県副理事長が副議長に選出され、松尾九歯連常務理事が庶務報告と会計報告を行い、浦田理事長が監査報告を行った。

協議に移り各県の常務理事が、平成28年度各県組合の決算状況、平成29年度各県組合の事業運営状況、平成30年度各県組合の予算編成方針等の報告を行った。各県の組合ともに、後期高齢者支援金と前期高齢者納付金の負担、組合員の高齢化による高額療養費の増加、段階的な定率補助金の削減等により厳しい運営が続き、対応に苦慮していることが窺えた。

本県が提出協議題として、被保険者数の減少に関して、他県の状況と対策についての教示を求めた。他県からは異口同音に、色々な場や広報を通じて国保組合の良さをアピールするしかないとの回答であった。

続いて熊本城調査研究センター文化財保護主幹の鶴嶋俊彦氏により「熊本城のここがすごい」と題した講演があった。はじめて聞くディープな熊本城の話であり、是非もう一度じっくりと聞いてみたい内容であった。

県民も知らない熊本城の話

最後に有吉九歯連常務理事が閉会の辞を述べ散会した。

（瀬井　知己）

天草郡市歯科医師会

気持ち新たに新年を迎える

— 新年会 —

１月６日（土）午後５時よりホテルアレグリアガーデンズ天草にて新年会が開催された。今年も金子衆議院議員はじめ天草市長、上天草市長、県議会議員、天草郡市医師会会長、天草郡市薬剤師会会長等10人もの来賓の方々に御列席いただいた。

会の始まる前に、ホテルロビーの広間にて記念の集合写真を撮影し、その後場所を海の見える会場に移して新年会が行われた。

まず森口会長が年頭の挨拶を行い、来賓の方々に挨拶をいただいた。その後木場薬剤師会会長の乾杯にて祝宴が始まった。美味しいお酒と料理に舌鼓をうち、会員それぞれが今年の抱負などを語り合いながら、楽しく歓談した。楽しい時間はあっという間に過ぎ、約３時間の新年会は終宴となった。その後送迎バスにて２次会の会場に向かい、日付が変わるまで皆でおおいに語り合った。新年を迎えて歯科医師としての決意を新たにした１日となった。

ホテルロビーの広間にて記念撮影

（山本 康弘）

下益城郡歯科医師会

会員同士の親睦を深める

— 新年会 —

１月11日（木）午後７時30分より、松橋の料亭吉田にて新年会が行われた。

朝から雪がちらつき、今年一番の冷え込みとなった日の開催になったためか、体調不良で欠席する会員もあったが、16人が参加しての会となった。

まず吉永会長より「今年は景気が上向き傾向だそうです。我々も体調に気を付けて頑張りましょう。」との挨拶があり、開会となった。本年の抱負や、地震の復興状況などの話が飛び交い和やかに会は進んだが、実際のところ業者不足や資材の高騰などで思うように復興は捗っていないのが現状のようだ。このところの金属価格の高騰も頭の痛い問題であり、景気回復が感じられるのはまだ先のようだ、との声も聴かれた。

また、宇城地区ではインフルエンザが爆発的に猛威を振るっており、保健所から各幼稚園や保育園に指導が入ったとのことで、私たちも感染には十分気を付ける必要があると感じた。

色々な話題で盛り上がった

美味しい料理やお酒が運ばれて来るにつけ、本年度の旅行計画に会話が移り、行先決めやゴルフ、温泉等の話で大いに盛り上がった。

本年も明るい話題ばかりではないものの各会員同士が親睦の深まる新年会であった。

（田染 直子）

人吉市・球磨郡歯科医師会

更なる医療連携の重要性を再確認

― 糖尿病・歯周病医療連携研修会 ―

１月21日（日）午前10時より平成29年度8020支援事業として人吉球磨地域を対象とした糖尿病・歯周病医療連携研修会が中小企業大学校人吉校にて開催された。

講師には熊本大学大学院生命科学研究部付属臨床医学教育研究センターより古川昇准教授をお招きし「糖尿病の基礎知識と最近の課題」と題して第１部の講演が行われた。第２部の講演では田上県歯常務理事による「糖尿病・歯周病医療連携の実際（６年間のまとめ）」と題した講演が行われた。

会場には人吉・球磨の歯科医師会会員はもとより、人吉保健所長をはじめ人吉医師会・球磨郡医師会・薬剤師会の各会員やその他各職種からも担当者に多数ご出席いただいた。

講演内容は、糖尿病に対しての基礎知識の確立と歯科としての対応を通じて、多職種との連携の有り方及び方法について両講師より懇切丁寧に御教授いただいた。講演後のパネルディスカッションには多くの質疑応答があり、医療連携についての活発な意見の交換で、更なる医療連携の重要性を再確認した講演会であった。

両講師によるパネルディスカッション

（愛甲 徹、塚本 卓也）

玉名郡市歯科医師会

じゃんけんゲームで大盛りあがり

― 新年会 ―

１月26日（金）午後６時30分より司ホテルにて、来賓24人と会員合わせて54人での新年会が盛大に開催された。髙﨑会長の挨拶の後、来賓挨拶に移り渡辺副会長、野田衆議院議員（代読坂梨秘書）、蔵原玉名市市長、森・浦田・内野県議会議員に挨拶を頂いた。その後平山玉名郡市医師会長の乾杯の音頭で宴が始まった。今回２年ぶりに厚生委員会による「髙﨑会長とのじゃんけんゲーム」、「くじ引き」企画が復活、司会を神崎会員が務めた。高級熊本県産の果物が景品で、レクレーション企画は大いに盛り上がった。田中荒歯会会長の締めでお開きとなり、2018年が良い年となる事を参加者全員で願った。本会にとって様々な連携事業を行っていくなか、色々な職種の方々と意見交換して、とても貴重な時間を過ごした。

熟慮の末チョキを出す髙﨑会長

来賓24人招き盛大に行われた

（永廣 有伸）

郡市会報告

阿蘇郡市歯科医師会

熊本地震からの復興
２年振りに来賓をお迎えして

― 新年会 ―

１月27日（土）午後６時30分より、熊本市の青柳にて新年会が開催された。武藤会長の挨拶後、服部阿蘇保健所長、平田医師会長、下村薬剤師会長、浦田県歯会長の４人の来賓より祝辞をいただき、牛島県歯専務理事の乾杯の発声で宴が始まった。

郷土料理に舌鼓を打ち、美味しいお酒を酌み交わしあい、和んだ雰囲気の中いろいろな情報交換や日々の診療の話など…話題にこと尽きることもなく楽しい時間を過ごすことができた。最後は甲斐田副会長の締めの挨拶でお開きとなった。

「平成28年熊本地震」で控えていた来賓の招待を２年振りに再開しての新年会となった。保健所、医師会、薬剤師会、県歯との交流ができることの素晴らしさを改めて感じた。

４人の来賓の方々とともに

（馬谷　真）

お知らせ

平成29年度第２回臨時代議員会　開催のお知らせ

下記のとおり、平成29年度第２回臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成30年３月24日（土）午後３時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議　事］
第１号議案　平成29年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　平成30年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　平成30年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　平成30年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件
第５号議案　一般社団法人熊本県歯科医師会役員等選挙規則の一部改正（案）の承認を求める件
第６号議案　熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）の承認を求める件

［協　議］
１　時局対策
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、会議場後方に席を用意いたしますので、事務局に必ずご連絡のうえご来館ください。

リレー投稿 15

『これが出来てるかなぁ』

熊本市　上村　裕希

１月初め、慌ただしく診療をしている中、突然クリニックの電話が鳴り（もっとも電話というものは自分の都合に関係なくいつも突然鳴る）、対応した受付からこう言われた。『先生、前田歯科醫院の鈴木先生？からお電話がありました。こちらから掛けなおしますとお伝えしてあります。』前田歯科醫院の鈴木先生（鈴木先生には申し訳ないが、医院名とお名前が違うので紛らわしい。）は同じ西区で診療されている先生だ。しかし、電話が鳴るのは珍しい。なんだろう？と思いながら電話を掛ける。『先生！県歯のリレー投稿って知っていますか？』（嫌な予感！）『次、お願いします！』（まじか!?）『あ、あ、はい〜〜。』かくして今回の原稿を執筆する運びとなった。書く内容は何でもいいらしい。どうしよう〜。書くことがない。何にもない。最近、仕事しかしていないので、プライベートで書くことが本当に何もない。と考えていたら妻に『家族のことでも書いたらいいじゃん』と言われたが、家族のことをこの場で披露するのも躊躇する。

ということで、私が小学校１年の頃から続けている“剣道”について書きたい。実に単純だが、これまでの人生で、開業して、剣道を続けていて本当に良かったと心底感じている。それは、稽古を続けていくことで、新たな人との繋がりが増えることもあるが、人生における教訓についていつまでも学べる事だ。大人になって開業し、独立した今や、自分を叱ったり戒めてくれる人は、ほとんどいない。剣道をやっていなければ妻や自分の親だけであっただろう。しかし、剣道をやっていると（主に酒の席でだが）今だに叱られる。これが良い。別にマゾではない。叱ってくれる人がいなかったら、お調子者の私は多分今頃、かなり調子に乗っていた。叱られると、ハッとなり、自分を客観的にみる、考えを改める。そして行動を変える。これが重要だ。本当に今まで続けてきて良かったと思う。話は変わるが、剣道袴（はかま）には五本の襞（ヒダ）がある。これにはちゃ〜んと意味があるのだ。『五倫五常の道を諭したもの』とされている。2020年開催の東京『五輪』ではない。人として常に踏み守るべき“道徳”を表す。五倫とは基本的な人間関係を規律する５つの徳目で、君臣の義（君臣は義を重んじ）、父子の親（父子は親しみ）、夫婦の別（夫婦は分け合い）、長幼の序（子供は大人を敬い、大人は子供を慈しむ）、朋友の信（友を信じあう）を意味する。五常とは人が常に守るべき五つの徳目で、「仁」（仁義・真実）、「義」（正しい道筋・義理）、「礼」（礼儀）、「智」（知恵）、「信」（誠・信ずる）を意味する。稽古を行う上だけでなく日ごろ生活する中で、歯科診療を行う上で患者さんやスタッフに対する心構えとして、常に心に刻んでおかなければならない教訓だろう。私は果たしてこれを実践できているのだろうか。必死に生きて、自分に負けない、人に優しくできる、強い心を持ちたい。毎日が修行だ！気合だ！剣道袴にある“五本の襞”の意味を常に意識して、今日も明日も一生懸命頑張るぞ〜！

次回は私が熊本で開業後に知り合い、月に１〜２回“合同カンファレンス”という名の“酒盛り”を開催するうちに、真の朋友となった同級生の坂元彦太郎会員にバトンタッチです。どうぞ宜しくお願いします。

2017年九地連にて、はるばる別府まで応援に来てくれたものの、決勝戦では車の中で爆睡していた愛しき家族！

母親の膝の上で、おっさんばりに
ＴＶのリモコンを操る頼もしき２歳児！

旭日双光章受章！　団体優勝!!

― 祝賀会並びに新年会 ―

剣道部報告

１月20日（土）午後７時より、熊本市の仲むらにて、毎年恒例の新年会に、工藤晃正部員の旭日双光章受章祝い、九地連剣道大会の団体優勝祝賀会もあわせて開催した。

県歯より渡辺副会長、熊本公徳会振武館道場師範の荒木幸二教士八段を来賓としてお招きし、応援団の方々や県歯野球部の２人をあわせて34人が参加した。

今回、主賓の工藤部員が地元の菊池郡市歯会のお祝いと重なったため、前半は菊池郡市でのお祝いに参加していただき、後半剣道部に来ていただくことになった。

中井部員の九地連剣道大会の成績発表に始まり、牧野部長の挨拶があり、来賓の渡辺副会長および剣道部の高森応援団長より祝辞を頂き、荒木師範の乾杯の挨拶で宴会が始まった。

工藤部員がお見えになってから受章祝いを開催し、中嶋部員による主賓紹介、牧野部長の祝辞、澤木直子部員による記念品贈呈の後、工藤部員より謝辞を頂き、田ノ上部員の乾杯の発声にて再度歓談になった。あっという間に時が過ぎ、澤木孝明部員の万歳三唱でお開きとなった。

受章おめでとうございます

工藤部員のご功績に敬意を表しますとともに、部員一同心よりお祝い申し上げ、ご健勝と今後の益々のご活躍を祈念いたします。

新年お忙しい中、ご出席いただいた渡辺副会長はじめ野球部や応援団の方々に感謝申し上げます。

一昨年の牧野部長の受章に続き、昨年は工藤部員の受章、九地連団体優勝、田ノ上部員の七段合格と大変いいことずくめの一年だった。今年も連覇を目指して部員一同精進して参りますので、今後ともご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

この場をお借りしまして、菊池郡市にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、剣道部に対して寛大なるご理解とご協力を頂いたことに感謝申し上げます。

（三森　康弘）

新入会員 NEW

第３種会員

飽田　詩織
（アキタ　シオリ）

熊本市東区健軍3-24-22

熊本パール総合歯科
クリニック健軍院

小西　郁理
（コニシ　イクリ）

阿蘇市一の宮町宮地1983-4

阿蘇きずな歯科医院

会　務　報　告

自　平成29年12月26日
至　平成30年１月21日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	12月26日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（九州厚生局熊本事務所）	椿常務理事
	28日	仕事納め式	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事
		第８回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）平成29年度会員表彰 （３）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼　ほか 【議　　題】 （１）熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正案 （２）平成29年度第２回臨時代議委員会議事の追加 （３）平成29年度第２回各郡市会長・専務理事連絡会議の報告及び協議　ほか	浦田会長他全役員
	１月４日	仕事始め式	浦田会長、牛島専務理事
		新年挨拶廻り（県庁、熊本市役所）	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、八木常務理事、澤田事務局長
	６日	八代歯会新年会（セレクトロイヤル八代）	浦田会長
	９日	第13回常務理事会 （１）平成30年度代議員会の開催期日 （２）平成29年度第２回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議資料 （３）第91回日本産業衛生学会の後援及び広告依頼　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	10日	第795回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	11日	第４回財務検討臨時委員会 （１）終身会員の条件である年齢及び在籍年数に引き上げ（２）委員会答申書の内容	菅原委員長他全委員、渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、竹下理事
	12日	県体育協会「メディカルチェック事業」に係るメディカルチェック及び関係会議 （熊本市医師会ヘルスケアセンター）	渡辺副会長、歯科衛生士１名
		県警察歯科医会打合せ（熊本市） （１）熊本県警察歯科医会の今後のあり方	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、上田警察歯科医会副会長
		中小企業等グループ補助金事業実績報告書に係る説明会 （１）事業実績報告書の提出に関する説明　　参加者：13名	
	13日	九州各県専務理事会（福岡県歯会館）	牛島専務理事
		山鹿市歯会新年会（旅館寿三）	渡辺副会長
		熊本市歯会新年懇親パーティー（ホテル日航熊本）	浦田会長、伊藤副会長、澤田事務局長
	17日	第14回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）平成29年度臨時代議員会会務報告 （３）平成30年度九州口腔衛生学会研究助成金の申請　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	19日	国保診療報酬審査委員会新年会（ホテル日航熊本）	浦田会長
		くま歯キャラバン隊（玉名郡市）（玉名市文化センター） （１）医療苦情の実情と実例（２）苦情発生から解決までの流れ （３）歯科医師賠償責任保険　受講者：19名	永松理事
	20日	県歯剣道部 工藤晃正会員旭日双光章受章・第62回九州地連大会団体戦優勝祝賀会・新年会（熊本市）	渡辺副会長
		菊池郡市新年会・工藤晃正会員旭日双光章受章祝賀会（ホテル日航熊本）	浦田会長、伊藤副会長
学　術	１月18日	学術委員会 （１）２／25衛生士対象学術セミナー（２）３／11有料講演会 （３）Ｈ30年度講演会内容検討	井上理事、馬場委員長他４委員

所管	日付	摘要	出務者
社会保険	1月5日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：1名	田中理事
	6日	社会保険個別相談会（山鹿市） 相談者：1名	橋本副委員長
	11日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	渡辺・園田・市川委員
地域保健	1月5日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（熊本管工建設株式会社） 受診者：43名	歯科衛生士2名
	9日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（県総合保健センター） 受診者：14名	歯科衛生士3名
	10日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（県総合保健センター） 受診者：15名	歯科衛生士3名
	13日	地域保健委員会 （1）糖尿病・歯周病医療連携研修会・検討会の開催 （2）医療機関連携事業評価会議の開催 （3）後期高齢者歯科口腔健康診査の受診率向上　ほか	田上常務理事、赤尾理事、郷原委員長他5委員
	15日	後期高齢者歯科口腔健康診査事に係る意見交換会 （1）後期高齢者歯科口腔健康診査の受診率向上	渡辺副会長、牛島専務理事、田上常務理事、赤尾理事、郷原委員長、高水間副委員長
	20日	糖尿病・歯周病医療連携事前打合せ（人吉市） （1）糖尿病・歯周病医療連携研修会・検討会の運営打合せ	田上常務理事、赤尾理事、人吉・中原会長、田中理事、球磨・向江会長、塚本副会長、梁理事
地域保健	21日	糖尿病・歯周病医療連携研修会（中小企業大学校人吉校） 受講者：34名 講　師：熊本大学大学院 古川昇准教授他	田上常務理事、赤尾理事他高水間副委員長、松原委員、人吉・中原会長、田中理事、球磨・向江会長、塚本副会長、梁理事
		糖尿病・歯周病医療連携検討会（中小企業大学校人吉校） （1）関係各団体・各郡市の圏域における今後の糖尿病・歯周病医療連携の取組み	田上常務理事、赤尾理事他高水間副委員長、松原委員、人吉・中原会長、田中理事、球磨・塚本副会長、梁理事
広　報	1月7日	熊日・RKK新春交礼会（ホテル日航熊本）	竹下理事
	12日	広報小委員会 （1）会報2月号編集・第1校校正	竹下理事、永廣委員長他3委員
学校歯科	1月16日	県学校保健会合同研修会（くまもと森都心プラザホール）	大林理事
	17日	第12回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
	18日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	12月26日	医療対策小委員会 （1）日常臨床と法の改訂内容協議	永松理事、岡田委員長他3委員
	1月9日	医療対策小委員会 （1）医療相談その後の対応	永松理事、岡田委員長他2委員
	12日	医療対策小委員会 （1）抜歯同意書	永松理事他3委員
	16日	医療対策委員会 （1）事例報告検討（2）各種報告書及び同意書等の改訂（3）委員提出協議題	永松理事、岡田委員長他全委員
	20日	都道府県医療安全担当理事連絡協議会（日歯会館）	永松理事、椿副委員長
		医療安全研修会（日歯会館）	永松理事、椿副委員長
	21日	医療事故調査制度研修会（日歯会館）	永松理事、椿副委員長
センター・介護	12月26日	口腔保健センター非常勤職員採用面接	小島副会長、松本理事
	1月5日	センター・介護小委員会 （1）平成29年度委託事業（2）障がい児者推進会議	小島副会長、松本理事他2委員
	13日	障がい者歯科保健推進協議会 （1）口腔保健センター障がい者診療の現況（2）保護者会とのネットワーク充実 （3）施設会とのネットワークの充実　ほか	浦田会長、小島副会長、田上常務理事、松本理事、平井委員長他7委員
	15日	口腔保健センター打合せ （1）平成30年度口腔保健センター予算	小島副会長、八木常務理事、松本理事
	20日	第3回多職種連携研修会（天草地域医療センター） 講　師：菊谷武日本歯科大学教授・口腔リハビリテーション多摩クリニック院長 参加者：89名	松本理事、天草郡市歯会森口会長
	21日	“他職種でつなげる食支援”アドバンスコース（第7回） 講　師：菊谷武日本歯科大学教授・口腔リハビリテーション多摩クリニック院長 受講者：36名	小島副会長、松本理事、平井委員長他3委員
総務・医療連携	1月17日	国立病院機構熊本南病院第117回地域ケア連携研修会（ウイングまつばせ） 「がん治療と口腔ケア」講師：宇治理事　受講者：51名	宇治理事
	18日	総務・医療連携委員会 （1）回復期研修会報告（12／16分）（2）今後のがん・回復期研修会打合せ （3）会報用がん・回復期医科歯科連携事業報告原稿確認	伊藤副会長、宇治理事他全委員
	20日	がん医科歯科医療連携事業研修会 講　師：がん感染症センター都立駒込病院 池上由美子歯科衛生士　　受講者：68名	伊藤副会長、宇治理事、神崎副委員長他3委員
国保組合	1月12日	第2回全協事務（局）長研修会（東京・全国町村会館）	田尻課長補佐
	20日	九歯連役員会（ホテル日航熊本）	浦田理事長
		九歯連協議会（ホテル日航熊本）	浦田理事長他片山監事を除く全役員
	21日	九州各県国保事務担当者連絡会	国保課職員

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

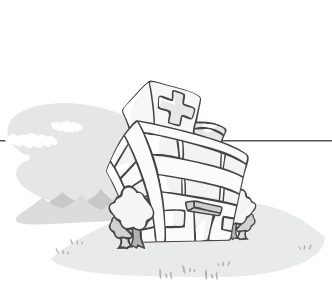
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

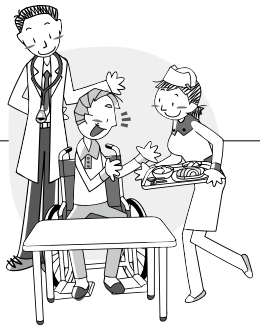
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
March 2018 No.741

笑顔ヘルC 8020歯からはじめる

4 主な行事予定 April

4日(水)	第19回常務理事会
7日(土)	各職種連携に係る研修会
18日(水)	第20回常務理事会
25日(水)	第12回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

冬季オリンピックが韓国のピョンチャンで始まり、連日テレビで観戦しています。オリンピック期間以外は見なれない競技ばかりで、ルールもあまりよくわかりません。競技を見て楽しむというより、日本人選手を応援しているという感じなので、日本人選手がメダルを獲得しそうな競技を中心にハラハラ、ドキドキしながら見ています。特に金メダルを獲得したフィギュアスケートの羽生選手、スピードスケートの小平選手、女子チームパシュートの選手達、マススタートの高木選手、感動をありがとうございました。

今回は韓国開催という事で時差もなく、又ありがたいことに夜遅い時間帯に見たい競技が多く、仕事が終わってビールを飲みながら、リアルタイムでテレビ観戦できました。２年後開催の東京オリンピックが今から待ち遠しく、開催時は競技場でビールを飲みながら観戦したいなーと思いました。

(N・Y)

■発行日／2018年3月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷